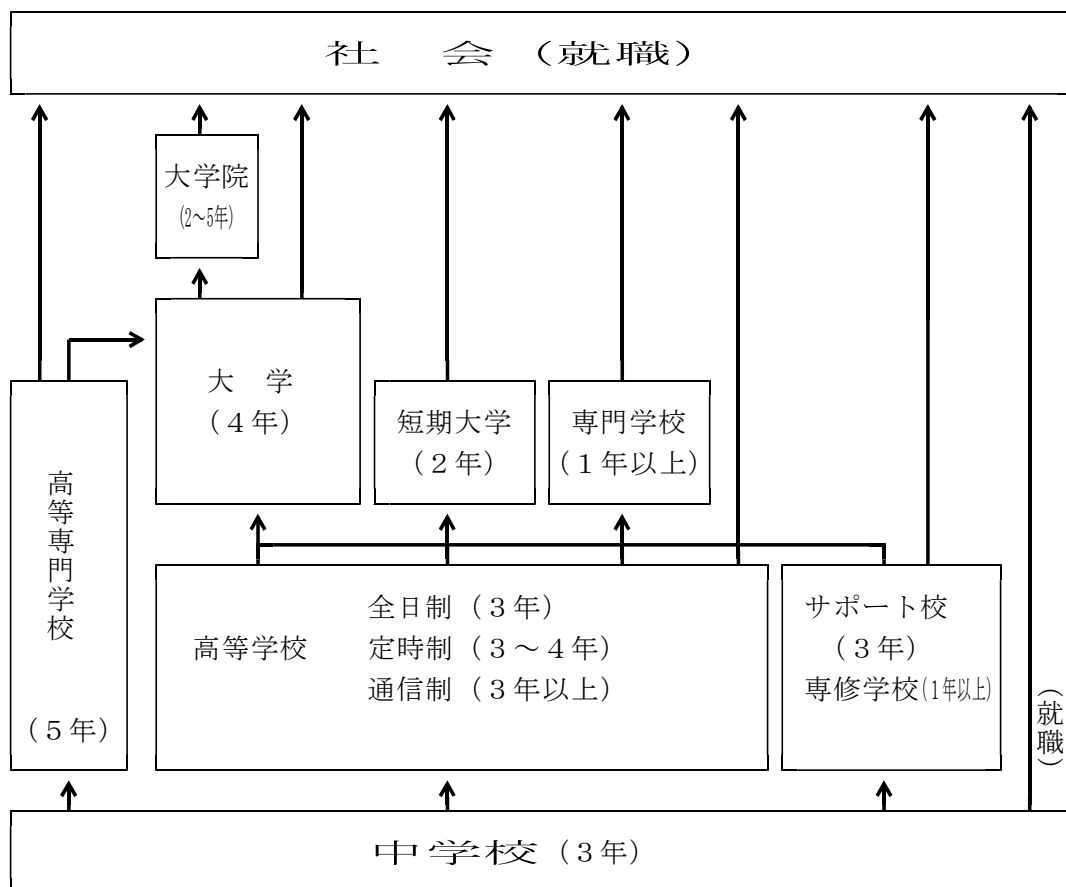


2 中学卒業後の進路



(1) 高等専門学校

修業年限5年で、工業に関して高度な専門教育を行う学校です。卒業後は、短大卒と同等の資格が得られ、大学の3年に編入することも可能です。現在都内に、都立2校（公立大学法人東京都立大学、産業技術高等専門学校）、国立1校（東京工業高等専門学校）、私立1校があります。

(2) 高等学校

◇設置者によって、都立・私立・国立に分けられます。

○都立…東京都が設置した高校です。都立高校ではそれぞれ特色ある教育活動を行っています。

普通科・専門学科に加えてコース制・総合学科・単位制また、各種重点校など生徒のニーズに合わせ多様化しています。

○私立…私立高校は設立者の建学の精神があり、それぞれの学校が独自の教育を行っています。生活指導がかなり厳しい学校もあれば、自由を大切にしている学校もあります。また、系列大学への進学が優遇される附属高校も有り、人気が高くなっています。
学費は初年度の総額で約80～120万円が必要になります。

○国立…国立大学の附属高校で大学の教育研究機関として設けられています。
入学にはかなり高い学力が必要とされます。

(3) サポート校

通常の高等学校と同様に教室を設置し、通学をしながら、学習自体は通信制高等学校の単位を取得する形態の学校が「サポート校」です。何らかの理由で中学校に通えなかった生徒や、高等学校に進学したものの続けられずに中途退学してしまった生徒なども積極的に受け入れる学校が多く見られます。

「サポート校」そのものは正規の高等学校ではありませんが、通常の高校と同じように教科担当の教員がいますし、部活動や修学旅行がある学校もあります。

通信制高校に籍を置き、その高校の卒業資格が得られます。2校分の学費が必要になります。

(4) 専修学校

社会に出て働くために必要な、技術や知識を身に付けることを目的とした学校です。商業高校や工業高校よりもさらに実務面に重点を置いた教育を行っています。中卒者が入学できるのは、高等課程で、修業年限は1～5年。工業、医療、衛生、商業、実務、家政服飾、文化教養などの学科があります。中には、大学入学資格の指定を受けている学校や、高校卒業資格を同時に取得できる学校もあります。

費用は私立高校程度か、それより多く必要になります。選考方法は学校によって異なり、筆記試験を行うところもあれば、書類審査と面接だけのところもあります。

(5) 就職

厳しい雇用環境の中、新規中卒者への求人はほとんど無いのが現状です。あっても希望職種は選べないと考えたほうがよいです。希望があれば公共職業安定所(ハローワーク)と連携をとりながら、よりよい職場探しの手伝いをします。